

あだちヤングジョブセンター

NPO法人「育て上げ」ネット

1. 事例の概要

(1) 実施場所

名 称 ●あだちヤングジョブセンター

所 在 地 ●東京都足立区千住 3-5-9 (JR北千住駅徒歩3分)

施設概要 ●足立区を中心とする若年者の就業支援センター

●2005年6月1日開所

●若年者への就業支援経験を持つ若手スタッフが中心となり、同年代の若者の目線で運営を行っている。

●主なサービス内容

- ・就職活動支援セミナー(「履歴書作成」「面接講習」「ビジネスマナー」など)
- ・職業人セミナー
- ・キャリアカウンセリング
- ・保護者対象の情報提供
- ・わかものドラフト制度(企業と若者を結ぶために設置した「ドラフトBOX」に若者が「プロフィールシート」を入れておくと、それを見た企業が適任者を「指名」する制度)

※ あだちヤングジョブセンターの詳細については、添付のチラシを参照

(2) 内容

ニートや引きこもり状況にある我が子(若者)の自立に課題を抱える保護者を対象とした情報提供及び保護者セミナー・親子セミナーの開催

(3) 目的

- ニートや引きこもりといった、自らの力で支援センターを活用することが困難な若者の存在を認め、その保護者を通じて支援センターやその他公的・民間の支援機関の情報の提供
- 我が子を隠す意識が働くあまり、社会的に孤立傾向にある保護者に対し、安心して自らの不安な気持ちを打ち明けられる機会の提供
- ワークを通じた保護者が我が子への接し方を振り返ることのできる場の提供
- 保護者の行動をきっかけとした家族機能の回復

(4) 実施期間

平成17年11月1日～同年12月22日

(5) 実施対象

我が子（若者）の自立に不安や悩みを抱えている保護者及びニートや引きこもり状況にある若者

(6) 実施者

ニート・引きこもり状況にある、または、それに近い傾向のある若者の支援について、実績のあるキャリア・コンサルタントに依頼した。

また、ニート・引きこもり状況にある若者とその保護者により適切に対応できるようにするため、依頼したキャリア・コンサルタントに対して、「育て上げ」ネットの相談専門員から、下記を内容とする研修指導を事前に行った。

- 若者のキャリア支援機関について
- 相談の進め方及び留意点
- 過去の事例と対応方法について

(7) 告知及び受付方法

公的機関にチラシ（添付チラシ参照）を設置するとともに、足立区広報等も活用して告知を行い、事前の電話予約により受付を行った。

2. 実施プログラムの内容

I. 保護者対象セミナー

⇒ 「我が子」の自立に悩む保護者のための情報提供と子どもへの接し方を学ぶためのセミナー

(1) 実施内容

- 我が子（若者）の自立のための情報提供（講義） - 50分
- 保護者同士の傾聴体験・分かち合い（ワーク） - 60分
- ※ 講義後休憩10分

(2) 実施対象

我が子（若者）の自立に悩む保護者
※ 夫婦での参加可

(3) 講師

キャリア・コンサルタント2名

(4) 内容詳細

- 参加者の緊張を解き、交流できる環境を作るための「アイスブレイク」（10分）
お互いのニックネームをネームプレートに書いて、他の参加者と次々に自己紹介していくゲーム形式のワークにより、初対面の参加者の緊張を和らげるこ

とを目的とする。

また、この場で安心して話すことができるように、次の3つの約束について参加者の間で合意を得た後、セミナーを進めた。

- ・ このセミナーで他の参加者から聞いたことをセミナー終了後に他の人に話さない。
- ・ 他の参加者の話すことを否定しない。
- ・ 他の参加者の話すことをバカにしない。

● 現在の就職を巡る状況や若者の支援機関等の講義（情報提供）（50分）

- ・ 保護者の世代の就職活動と現在の就職活動の違い
- ・ 保護者が我が子の就職支援の全てを抱え込まなくともよいこと
- ・ 公的な支援機関を始め、NPOなどの支援機関も存在すること
- ・ 若者本人が支援機関をうまく利用し始めるように我が子を支援することの重要性
- ・ 若者自立塾、ヤングジョブスポット、ジョブカフェ、ハローワークの違いと利用方法
- ・ 若者それぞれの状況にあった支援機関を利用することの重要性
- ・ 就職活動がうまく進まないケースの紹介
- ・ 保護者対象の個別相談についての紹介

● 参加者同士が体験的に学ぶグループでのワーク（60分）

⇒「傾聴」のワーク

保護者が2人一組のペアになり、「聴く姿勢でない場合」と「じっくり傾聴する姿勢」の2通りで話をしてみて、体験的に「我が子の気持ちをじっくり聴くことの大事さ」を体験するワーク

⇒「分かち合い」のワーク

保護者が2人以上のグループになって「自分の一番聞いてほしいこと」を順番に話し、他の参加者がその話に傾聴するワーク

タイムテーブル

時刻	作業内容	注意事項
16:00～	講師間の詳細打合せ及び事前準備	
17:00～ 17:50	ワーク1. アイスブレイク 講義1. 親は我が子にどう接するべきか 講義2. 支援機関について	参加者のニーズがある具体的な支援機関に関する情報も提供する
17:50～ 18:00	休憩	
18:00～ 19:00	ワーク2. 傾聴 ワーク3. コミュニケーション ワーク4. 各人の気づきの共有	ワークの中身（課題）は参加者自身が気づきを得ることのできるよう進める。

II. 親子対象セミナー

⇒自立に悩む若者本人と保護者のための情報提供と「行動を変える」ためのセミナー

(1) 実施内容

- 若者の自立に向けた情報提供（講義） - 50分
 - 保護者同士/若者同士の傾聴体験・分かち合い（ワーク） - 60分
- ※ 講義後休憩10分

(2) 実施対象

自立に課題を抱えている若者及びその保護者

(3) 講師

キャリア・コンサルタント2名

(4) 内容詳細

基本的にIの保護者対象セミナーと同様であるが、講義（情報提供）においては、「仕事への移行事例」を扱うこととした。

なお、計画段階では、親のグループと若者のグループに分ける予定であったが、若者の参加が2人であったため、自分の親のいないグループに若者2人が参加した。

タイムテーブル

時刻	作業内容	注意事項
16:00～	講師間の詳細打合せ及び事前準備	
17:00～ 17:50	ワーク1. アイスブレイク 講義1. 仕事への移行事例 講義2. 支援機関について	参加者のニーズである具体的な支援機関に関する情報も提供する
17:50～ 18:00	休憩	
18:00～ 19:00	ワーク2. 傾聴 ワーク3. コミュニケーション ワーク4. 各人の気づきの共有	グループにより進行する。 ワークの中身（課題）は、参加者自身が気づきを得ることのできるよう進める

III. 保護者対象個別相談・情報提供

⇒「我が子」の自立に悩む保護者のための専門家との個別相談と情報提供

(1) 実施内容

- 保護者の相談内容から保護者が抱える課題を把握し、それぞれの状況に適した若年者の自立を支援する施設や団体等の情報提供
- 保護者対象セミナーへの誘導
- 親子対象セミナーへの誘導

※ 情報提供の一般的な3つのステップ

1. 親の話を傾聴する
 - ・ 受容的な態度で
 - ・ 親の気持ちをじっくり聴く
 - ・ 子ども（若者）の状況を把握する
2. 若年者キャリア（自立）支援機関の情報提供・利用方法
 - ・ 支援機関（若者自立塾・ヤングジョブスポット・ジョブカフェ・ハローワーク・就労支援NPOなど）についての情報提供を行う
 - ・ 支援機関（支援者）と若者自身の置かれた状況との“相性”の重要性を説明する
 - ・ 若者（我が子）の行動を“待つ”だけでなく、保護者が積極的に支援機関に足を運び、雰囲気や利用者、支援者などのリアルな「情報」を我が子に届けるなどの具体的な支援について説明する
3. 当事者である若者への情報提供方法等の個別相談
 - ・ 要望に応じ、当事者である若者への情報提供方法等の相談に応じる
 - ・ キャリア・コンサルタントと保護者の双方が、その若者（子ども）にあだちヤングジョブセンターが行う支援が適していると判断した場合には、相談終了後に同センター職員と保護者を引き合わせ、今後の具体的な取り組みを確認する

(2) 実施対象

我が子（若者）の自立に悩む保護者

(3) 相談者

キャリア・コンサルタント5名（シフトを作成・各日1人を配置）

(4) 実施方法

個別相談コーナーで実施

※ 親子で来所した場合には、前半に若者（子ども）の話を聞き、後半に保護者の話を聞いてから、情報提供を行う。

前半・後半に分けて若者と保護者の相談を行うため、待ち時間にセンター職員が若者/保護者の対応にあたる

3. キャリア・コンサルタントの役割

今回の事例では、以下の役割をキャリア・コンサルタントが果たした。

- ・ 企画案の作成
- ・ あだちヤングジョブセンター事務局との打ち合わせ
- ・ 保護者セミナー及び親子セミナーの講師
- ・ 個別相談・情報提供のための相談員

なぜ、キャリア・コンサルタントを活用するのか。それは、今回の取組みの主な目的が、就職の意欲はあるが支援機関をうまく利用できていない若者を、保護者を通じて支援することであるので、次の2点からキャリア・コンサルタントの活用が適すと考えられたからである。

1. 保護者との信頼関係を築くことが最初に重要となり、保護者の話を十分に傾聴する必要があること
2. 家に引きこもりがちな若者が就職に向けた最初の一步を踏み出すための支援が求められていること（最終的なニーズは就職にあるが、こうした若者のうちの多くは、社会的な活動経験の乏しさや自己分析の段階での悩みを抱えており、就職活動のノウハウ以前の支援が求められている）

ニートや引きこもり状況にある若者の支援となると、とかく心理面、精神面、こころのケアに焦点が当てられるが、メンタルヘルスの分野のみの支援では、働く意欲がありながらも一步が踏み出せない若者のニーズに、必ずしも応えられない。

そこに対して、キャリア形成支援を専門とするキャリア・コンサルタントを配置することで、メンタルヘルス以外の支援を必要とする当事者の若者とその保護者に希望を与え、かつ、具体的な就業行動への後押しが可能となるのである。

4. 実施結果

I. 保護者対象セミナー

(1) 実施結果

- 1 1月12日（土）参加者3名
- 1 1月19日（土）参加者7名
- ※ 各日17：00～19：00実施

(2) 参加者の声

- 非常にわかりやすい説明でした。まだニートにはなっていませんが（これから大学生）子供との関わり方をスムーズになれる様になりたいと思います。
- 親子で何もつながっていけない現状、何とか支援機関を利用したいと思っていますが本人とコミュニケーションが取れずそこまで持っていけるか・・・
- 質問もさせてもらったのですが、カタカナ文字は50代の私にはスーッと頭に入ってこないし、わからないことも多かったです。
- とても分かりやすくて良く理解できました。又、個人相談も受けたいと思います。
- 我が家は長いニートなので、根深い親相談も必要かなと思います。色々な角度から今日のセミナーは勉強になりました。
- 前半の「ニートの現状」のようなことが知りたくて来たので、それだけで十分だった。ワークショップの1つは経験したことがあったので無駄に感じた。
- ピアカウンセリング（分かち合いワークショップ）のセッションがおもしろかつ

たです。傾聴の効果も実感しました。

- 「親セミナー」をもっとPRし、何回も実施して欲しい。(ニートを抱えながら、自分1人で悩んでいる親が多いと思うので)
- 7人の参加でしたが、楽しい雰囲気の中であっという間に時間が過ぎました。ありがとうございました
- ありがとうございました。就職のために親が動き、本人と一緒に動くことはあまり考えていませんでした。後押しだけで、後は第三者にまかせたいなあと感じていました。
- 渋谷近辺にも同様の組織があるといいと思う。
- 保護者やニートの生の声を聞きたかった。
- ワークショップ1時間が少し物足りなかったかもしれません。内容ではなく時間です。

II. 親子対象セミナー

(1) 実施結果

1 1月26日(土) 保護者のみ4名

1 2月17日(土) 14名(親子2組・保護者のみ8名・その他2名)

※ 各日17:00~19:00実施

(2) 参加者の声

(保護者)

- 講義はわかりやすかった。
- 「子どもは何を考えているのだろう」と思いました。
- 個別相談をうけてみたい。
- 親は長い目で子どもがステップをのぼるのをサポートした方がよい。
- 子どもが相談するカウンセラーと相性が合うことは大切だ。
- まずは、支援機関をどのように利用するかが大事。
- 子どもにどのように情報提供すればよいかを相談したい。
- このようなセミナーに親が参加すると、そのことで子どもは何かを感じるはず。
- 他の同じような状況の親の話も聞けてよかった
- 自分のこどもは家からでることも大変。

(若者)

- 自分の親以外の人から親としての想いを聞くことができよかった。
- 今となっては、自分の親が自分のことを想ってくれているのがよくわかる。
- 親のいうことは「うざい」と思うが、自分は家から出て行くと生きていけない。